

令和5年度 長崎県立中五島高等学校 学校評価表（自己評価）

学校教育方針	<ul style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体性を重んじ、一人ひとりを大切にする教育の推進 2 郷土愛をはぐくむ教育の推進
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> 1 生徒、保護者、職員の全てにとって魅力ある学校 2 コミュニティ・スクールとして、地域を支え、地域に愛され、地域とともにある学校 3 さまざまな活動を通して、「生き抜く力」を身に付けられる学校
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 1 基本的生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> (1) 挨拶の励行、端正な身なり、時間厳守の徹底 (2) 生命尊重、いじめ防止、健康に対する意識高揚 2 学力の伸長 <ul style="list-style-type: none"> (1) 学び直し、個別指導による基礎学力の定着 (2) ICT機器の活用とAL型授業による能動的、主体的な学習の推進 3 「一人ひとりを大切にする教育」の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒、保護者との対話重視による信頼関係の構築 (2) 本校の実態に即した特別支援教育の在り方の研究と確立 4 「キャリア教育」・「郷土愛を育む教育」の推進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 3年間を見据えた「総合的な探究の時間」の指導体制の構築 (2) 公務員希望者指導の研究 (3) 外部資源活用による視野の拡大、社会人としての基盤の涵養 (4) ボランティア活動、地域活動への積極的参加 5 志願者数増に向けての取り組み <ul style="list-style-type: none"> (1) 「学校だより」やHPによる定期的かつ細やかな情報発信 (2) オープンスクール、学校説明会の形態と内容のさらなる充実 6 職員研修の充実 ～学び続ける教員～ <ul style="list-style-type: none"> (1) 特別支援教育及びICT教育を視点にした授業の実施 (2) 校内研修、オンラインを含めた校外での研修への積極的参加 (3) 「総合型選抜入試」や「大学入学共通テスト」等の研究 7 教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 安全安心な教育環境の構築 (2) 施設設備の点検・整備・美化の励行

1. 学校運営について

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	総合
学校教育目標	学校教育目標の具現化	学校の実態に即した目標を設定し、教職員間の理解のもとに教育目標の具現化を図る。	前年度の教育課題や生徒の実態を踏まえた適切な重点目標を設定する。	—	—
	運営方針の明確化とその実践	学校運営方針を学校内外に明確に示し、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	教育課題を明確にし、各教職員が運営方針を意識して教育活動を展開すると共に、教育目標や経営方針を生徒・保護者・地域に説明する機会を設ける。	—	—

学年 学級 目標	学年学 級目標 の具現 化	学年目標に沿った 経営を行う。	学年・学級目標の教員・生徒への浸透を図り、目標達成のために教育活動を展開する。	—	—
----------------	------------------------	--------------------	---	---	---

2. 教育活動・教育環境・その他について

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	総合	
教務	学 習 環 境 の 整 備 と 充 実	校務の円滑な 運営に努める。	各分掌・学年との連携を図りながら、学校行事のスムーズな運営に努める。また、学校教育目標を基点に全ての教育活動を繋げて構成できるよう、行事の見直し・精選を行う。	3.7	4.0	
			授業時数の確保と出席率の向上に努める。また、成績処理・出欠統計など事務処理の効率化に努め、点検作業を分担し、ミスの無いよう正確に行う。	3.7	3.5	
			観点別評価や新教育課程への対応について、各業務の負担が軽減されるように努める。また、各自の担当業務のリスト化や引継ぎ資料の作成を随時行い、教務部全体での円滑な業務遂行を目指す。	3.7	4.0	
			快適な教育環境の整備に努める。また、週案や朝会連絡を活用し、当面の行事予定や日程、日課変更などの周知を徹底する。	3.8	4.0	
	地 域 へ の 発 信 と P T A 活 動	信 頼 さ れ る 学 校 づ く り に 努 め、積極的 に 広 報 活 動 を 行 う。	H P (全職員担当制)や中高だより(広報委員会)の作成を統括し、本校の活動に関する情報を充実させ、中学校や保護者・地域に情報を発信する。	3.8	4.0	
			オープンスクールや学校説明会等を通して、中学校(生徒・保護者・教員)への広報に努める。また、地区別説明会を行い、地域の方々に中高の雰囲気や現状を伝える。	4.0	4.0	
			各行事や発表会など、保護者や地域の方々に来校していただく機会を設ける。特に、PTA 総会での出席率90%以上を目指す。	3.7	3.7	
	研 修	研 修 の 充 実	生徒・職員の研修を充実させる。	情報モラル教育や観点別評価、特別支援等に関する職員研修を行い、生徒の学びの質を変えるための方策を検討する。	3.8	3.7
			各学年や他分掌との連絡を密にし、LHR や総合的な探究の時間などの企画・運営がスムーズに実施されるように努める。	3.8	4.0	
			平和学習や人権学習、心の教育の時間等を充実させ、生徒の豊かな人間性を育てる。	4.0	4.0	
図 書	図 書 館 活 動 の 充 実	読書活動を推進し、読書に親しむ姿勢を育てる。	生徒主体の図書委員会活動を支援し、魅力的な図書館づくりを行う。また、図書館便りを8号以上発行する。	4.0	4.0	
			朝の読書を活性化し、読書の習慣をつけさせ、読書の楽しさを実感させる。また、新鮮で魅力ある本を選定し、年間3冊以上の貸し出しを目指す。	3.6	3.8	
			各学年や他分掌との連携を強化し、図書館の積極的な活用を推進する。	3.3	3.5	
生 徒 指 導	基 本 的 な 生 活	誠実な生活態度を持ち、健全	誠実な生活態度を持ち、健全で、気品ある中高生の育成を目指す。	4.0	3.7	

	習慣の確立	で、気品ある中高生の育成を目指す。	携帯電話・スマートフォンの利用に関する情報モラル指導に取り組み、問題発生防止に努める。	3.8	3.6
			保護者や地域社会との連携を強めるとともに、情報交換を図り、指導に活用する。	4.0	3.8
			問題行動の発生防止や、それに対する的確な対応と、再発・拡大防止に努め、生徒の健全な育成を推進し、郷土愛を育む。	4.0	3.8
	生徒会指導の充実	生徒の自主的・積極的活動を推進する。	各種生徒会活動や専門委員会、部活動などの活動等を通じて、自ら考え判断し、責任を持って行動できる生徒を育成する。	4.0	3.9
			生徒会執行部を中心に各種専門委員会や部活動と協力しながら、主体的に学校行事に取り組む姿勢を育成する。	4.0	3.9
			ボランティア活動や募金活動について、年3回以上取り組む機会を作ることで、奉仕の精神と積極性を養う。	4.0	3.8
生徒支援	カウンセリングの充実	豊かなコミュニケーション環境を整え、生徒の悩みや困りに気づき、支援する。	日常的に生徒とのコミュニケーションの場を設定し、必要に応じて個人面談を行う。	4.0	3.9
			いじめ根絶集会の実施によるいじめ防止に関する啓発や、生徒アンケート等を活用した悩みや困りの早期発見・早期対応に努める。	4.0	3.9
			保護者との連携を深め、全職員で生徒情報を共有し、一貫した指導支援を行う。	4.0	3.8
			カウンセリングやストレスマネジメントに関する情報発信に努め、教育相談を充実する。	4.0	3.9
	特別支援教育の充実	個別の教育的ニーズのある生徒に適切な指導支援を行う。	実態把握を行い、個別の指導計画を使って支援の方向性を共通理解して指導支援する。	3.8	3.7
			個人カルテを活用しながら、家庭や関係機関（医療・福祉・労働）との連携を図る。	3.8	3.7
保健	保健管理	生涯を通じて心身の健康を保持できるよう、生徒の自己管理能力の育成を図る。	健康診断を通して健康状態を知らせ、事後措置を徹底し、個別指導を行う。	3.8	3.7
			健康観察に努め、健康上問題のある生徒の把握をし、全職員に共通理解を図った上で、生徒の健康状態に応じた適切な行動がとれるようにする。	4.0	3.9
			感染症の早期発見に努め、感染症予防対策を実施し、その方法について理解を図り適切な行動が取れるようにする。	4.0	3.9
			保健だよりの発行（11回）、及び保健に関する啓発研修を実施する。	4.0	3.8
	安全管理	救急体制の充実を図る。	改定された「危機管理マニュアル」を活用し、緊急時の連絡系統・対処法について、職員の共通理解を図る。	4.0	3.7

			健康上の問題がある生徒がいる場合、職員間で情報を共有し、緊急時に備える。	4.0	3.9
			避難訓練を実施するだけでなく、台風や大雪などの災害が起りそうな機会も活用しながら、緊急時の対応について学ぶ機会を設ける。	4.0	3.8
		環境衛生管理に努める。	環境衛生諸検査を適切に実施する。	4.0	3.8
			施設・設備の定期点検を学期ごとに行う。	4.0	3.9
美化	潤いのある生活環境の整備	学校環境の美化に努める。	掃除用具の在庫確認、及び各掃除場所の道具の点検・補充を行う。	3.8	3.7
			学校の実態に合わせた清掃要領を作成し、各種専門委員会と協力しながら学校環境美化に対する自発的意識を高める。	4.0	3.9
進路指導	学ぶ姿勢を育て、基礎学力の向上に努める	自ら学ぶ姿勢を育てる。	進路・コース別の補習を設定し、個々に対応した学習・進路指導を行うことで、生徒が自ら強みを伸ばし課題を克服しようとする態度を育てる。また、Ed Tech サービスを利用して、自分で学ぶ習慣をつけさせる。	3.8	3.7
		学力の伸長を図る。	模試や補習を計画的に実施し、学力の把握に努める。模試結果の分析検証を行い、生徒にフィードバックし、個々に応じた学習指導を行う。	3.5	3.5
		学び直しの組織的指導体制を確立し、基礎学力の定着を目指す。	年数回の学びタイムや1学年当初の学び直しの時間を設け、スタディサプリ等を活用して自分の弱点を把握し、基礎学力の定着を図る。	3.8	3.8
	進路実現に向けて系統的な進路指導を行い、進路に対する明確な目的意識を確立させる	進路決定100%を目指す。	学年・教科担当と連携して補習および個別指導を充実させ、効果的な受験指導を通して進学希望者全員の合格を目指す。また、大学入学共通テスト等の情報を収集し、指導体制を確立していく。	3.8	3.7
			就職希望者の第一志望への合格を目指し、学年と連携をとり、生徒一人ひとりに合った進路指導を行う。公務員の指導については、指導体制を確立し、低学年時期から継続的に指導する。	3.8	3.7
			福祉的就労および就職に際して支援が必要な生徒について、特別支援コーディネーターと連携し、個々に応じた職業選択の実現を目指す。	3.8	3.8
		外部機関や地域と連携し、生徒の進路意識を高める。	年間計画に基づき、校内外の進路行事に積極的に参加させ、自らの進路実現に向けた目的意識の醸成を図る。また、キャリアサポートスタッフと連携しながら、職業観を育成する。	4.0	3.9
より効果的な進路指導の実現と、生徒・保護者への積極的な情報発信に努める。	進路指導部員が、各種研修会や情報収集など進路に関する研究を積極的に行い、よりよい進路指導を目指す。また、それを教員間で共有し、効果的な情報を担任・保護者・生徒に提供できるようにする。	3.8	3.5		

事務室	教育環境整備と事務運営	安全・安心な教育環境の整備に努める。	毎月施設の見回りを実施し必要な箇所は補修を行う。	3.6	3.8
			学期ごとに実施する安全点検で挙げられた項目について必要な措置を講じる。	3.4	3.5
	適切な会計事務を徹底する。	関係法規や事務処理マニュアルに則った事務を徹底する。	3.4	3.5	
		定期的に事務室内で研修を実施し、事務処理ミスの防止を図る。	3.2	3.3	
	省エネ・経費削減の推進を図る。	デマンド装置を活用した節電等の実施により、電気使用量の削減を図る。	3.6	3.8	
		両面印刷、裏紙使用により用紙の使用枚数の削減を図る。	3.4	3.5	
		ミスプリントを削減しインク・トナー代の削減を図る。	3.4	3.5	
	開かれた事務室づくりを推進する。	学校、教職員、生徒、保護者の状況や課題、要望を踏まえた対応を行う。また、対応できない場合は丁寧な説明を行う。	3.6	3.8	
		窓口や電話など外部との対応は、その意図する部分を正確に把握するとともに丁寧な対応に努める。	3.6	3.8	